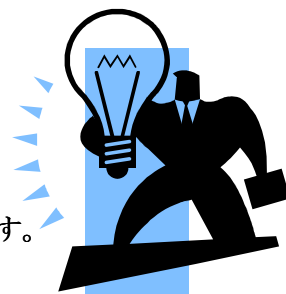


UFO長野 ものづくり共創塾(第二期生)

経営実践講座（基礎編、実践編）カリキュラム

募集人数 10名（先着順） ※ 基礎編及び実践編の受講が必要となります。



【 1 基礎編 】

回	日程・場所	講習内容	講師
1	9月12日（土） 13:30～16:30 長野市ものづくり支援センター	<p>～講座ガイダンス～</p> <ul style="list-style-type: none"> 当講座の目標、内容など演習などの留意事項の説明。 <p>企業経営の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> 永続して業績をあげている企業は変化する環境にどのように対応しているのか、その組織と様々な要因を考察する。 	信州大学イノベーション研究・支援センター 客員教授 西村 哲明
2	9月26日（土） 13:30～16:30 長野市ものづくり支援センター * 講義終了後、講師及び受講者とB-cip Naganoメンバーによる交流会を予定。その際の参加費については、実費を別にいただくものとします。	<p>認識の重要性</p> <p>～情報の次元と精度～</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営に重要な結果を及ぼす、判断は一見根拠があるようで突き詰めると曖昧さ、一般常識に囚われ焦点が定まっていない場合が多い。現象をどの視点から認識するかにより対処法、結果に違いが生じる。事例を通じて物事を正確に認識する考え方を学ぶ。 <p>類推能力の強化</p> <p>～リスク管理～</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品の誕生、様々な商品の進歩、改善、変化、寿命は一見予測が付かないように思えるが、関連する周辺技術などを調査することにより、類推することは可能である。一見自社に関係ないと思われる新技術が自社製品を消滅させるリスクを避けるためにも身に着けたい考え方を学ぶ。 <p>高付加価値化の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> 競合相手といかに差別化を図るか、そのためには自社を客観的に評価することが必要である。技術評価表を事例に考え方を学ぶ。 	

* B-Cip Nagano について :

UFO長野 ものづくり共創塾経営実践講座の参加企業の異業種のオーナー経営者と次期経営者が、長野地区で新たなビジネスモデルを共創しようと、平成21年に自主的に立ち上げたプロジェクト。所属メンバー10社。

【 2 実践編 】

回	日程・場所	講習内容	講師
1	10月31日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	自社評価(演習) ・技術評価システムを事例に自社の業種の評価表を作成する。発表を通じディスカッションにより意見交換。	信州大学イノベーション研究・支援センター 客員教授 西村 哲明
2	11月14日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	自社の変遷表作成(演習) ～類推能力と密接な関係～ ・自社がどのような変遷を辿ったか、その要因探索と分析を行い、将来を類推する。発表を通じディスカッションにより意見交換、相互補完を行う。	
3	12月19日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	自社の高付加価値化計画の作成(演習) ・自社の総合的な作業、工程表を作成し、高付加価値化計画を作成する。発表を通じディスカッションにより意見交換、相互補完を行う。	
4	1月23日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	中長期事業計画書作成 ・高付加価値化計画を推進するための全社的事業計画書の作成。	
5	2月20日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	中間評価発表 ・進捗上により当初計画の評価、変更及び新たな課題解決などの取り組みについて各自より発表を行い、それを元に全員で検討を行う。	
6	3月13日(土) 13:30～19:30 長野市ものづくり支援センター	成果発表 ・メンバーの中で成果が出始めた者より成果の発表を行い、評価、提案など更なる付加価値をあげる考え方を討議する。	

基礎編・実践編受講料(全8回): 17,000円/人

注) カリキュラムは、上記内容を基本に受講者の進捗状況や受講内容のご意見等も参考にしながら対応予定です。

※ 参加者は、参加者間で自社課題等の議論を行うため、参加者間と講師の間で秘密保持契約を結ぶ予定であります。

※ 開講中には、企業訪問などを予定します。(その際は、現地集合、現地解散とします。)

